

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名【新】ぎふ木の文化祭（仮称）開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 加工流通係 電話番号：058-272-1111(内4365)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,500 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	17,500	0	0	0	0	0	1,200	0	16,300
決定額	17,500	7,965	0	0	0	0	1,200	0	8,335

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・木材（製材品）が最も使われる木造住宅は現在、年間約81万戸建築されているが、民間シンクタンクの予測では、2040年には約55万戸まで大幅減となるとされている。
- ・製材品の8割が住宅で利用されていることから、県産材住宅の建設促進に向けた取組みが必要。
- ・また、木材は、製造時のエネルギー消費が少なく、炭素貯蔵効果の長期発揮が期待できるため、温室効果ガスの排出削減にも寄与し、脱炭素社会の実現を担う材料として期待されている。
- ・更なる県産材の需要拡大のためには、県民や企業の木材利用に対するより一層の理解の醸成が必要。
- ・このため、木の良さやその性質を体感し、理解を深めるイベントを開催する。

(2) 事業内容

- 「ぎふ木の文化祭」の開催
 - ・県内の工務店・建材・家具・木工等の事業者が一堂に会し、ぎふの木の文化、木づかい運動のPR等を行うイベントを開催し、県民に木材利用に対する理解を深めてもらう。
 - ・「清流の国ぎふ」文化祭2024の併催行事として実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の林業・木材関係団体が共催金、協賛金として、一部事業経費を負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	80	企画委員会出席、会場設営備品引取り等に係る職員旅費
需用費	860	来場者配付普及物品、会場準備用品、資材運搬車燃料費
役員費	230	通信運搬費、保険加入料
委託料	15,930	会場設営、イベント設営等
使用料及び賃借料	400	企画会議用会議室、駐車料金等
合計	17,500	

決定額の考え方

財源については、デジタル田園都市国家構想交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

2 林業・木材産業の振興

(1) 都市の木造化脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大

(2) 後年度の財政負担

単年度で実施

(3) 事業主体及びその妥当性

基本計画で位置づけた県の役割であり、主催者として実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の工務店・建材・家具・木工等の事業者が一堂に会し、ぎふの木の文化、木づかい運動のPRを行うイベントを開催し、県民に木材利用に対する理解を深めてもらうとともに、県産材の需要拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①県内における県産材需要量（千m ³ ）	425	427	493	538	606	70%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	県内の木材関係企業等が出展して、多くの県民が木にふれて親しむことができ、木づかいをPRできる格好の機会であることから、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 同時期に開催されるイベント等との調整が必要な事や、イベント補助にともなう職員の負担が増となるため、委託費の確保が必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】